

15. 割合をグラフに表して調べよう [帯グラフと円グラフ] 単元計画 【新しい算数5下 東京書籍】

単元の目標	(1) 帯グラフや円グラフの特徴とそれらの用い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。 (2) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察することができる。 (3) 統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く活用しようとしている。		
単元の評価規準	知識・技能 ①帯グラフや円グラフなどの特徴とそれらの用い方を理解している。 ②データの収集や適切な手法の選択について理解している。 ③帯グラフや円グラフを活用して、統計的な問題解決をすることができる。	思考・判断・表現 ①目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目しながら、結論について考察している。 ②問題を解決するために適切なグラフを選択して判断している。	主体的に学習に取り組む態度 ①統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。

小単元	1	2	3	4	5	6	7	8
	(1) 帯グラフと円グラフ					まとめ		単元末テスト
目標	収集したデータの特徴に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択するという課題を明確にする。 (教科書P.82~84)	帯グラフや円グラフの特徴を理解し、グラフを基にデータの傾向を読み取る。 (教科書P.84~85)	帯グラフや円グラフのかき方を理解する。 (教科書P.86~87)	これまでの学習を振り返り、統計的な問題解決の方法を理解する。 (教科書P.87~88)	複数のグラフから、割合や絶対量を読み取り、データの特徴や傾向について説明する。 (教科書P.89)	学習内容の定着を確認するとともに、単元の学習を振り返り価値付ける。		

評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①②③は単元の評価規準を参照)

知識・技能【知】	① ○帯グラフや円グラフは、割合が視覚的に捉えやすいというよさに気付いている。	① ○帯グラフ、円グラフの特徴を理解し、グラフを基にデータの傾向を読み取ることができる。	① ●帯グラフや円グラフのかき方を理解し、かくことができる。	② ○統計的な問題解決の方法について理解している。	③ ○複数のグラフから統計的な問題を解決することができる。		② ●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。
思考・判断・表現【思】				① ○帯グラフや円グラフから問題に対する結論を考え、説明している。	② ●複数のグラフから、データの特徴や傾向を読み取り、問題に対する結論を考え、説明している。	① ●数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。	
主体的に学習に取り組む態度【主】		① ○帯グラフと円グラフを基に、データの傾向を捉えようとしている。				① ●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしている。	

学習の流れ (目安:分) と 学習形態 (★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※A1ドリル(3年6-2)	※共通ドリル(5年16-1)	※A1ドリル(5年15-1)	※共通ドリル(5年16-2)	※A1ドリル(5年15-2)	※A1ドリル(5年15-まとめ)	※A1ドリル(5年-おすすめ問題)	※単元のドリルで間違えた問題
0	①<既習内容の確認> これまでに学習してきたグラフを確認する。	①<★前時の確認> (習熟タイムや宿題で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認> (習熟タイムや宿題で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認> (習熟タイムや宿題で、つまずきが見られた問題)	①2つの帯グラフの違いを確認する。	①《パフォーマンス課題》 第1時で提示された課題を再度把握する。	①《パフォーマンス課題》 アンケート結果から分かることを、適切なグラフに表して説明する。【思・ルーブリック評価】	①CBT単元テスト【知】 (帯グラフと円グラフ)
5	②《パフォーマンス課題》 提示された課題を把握する。	②帯グラフと円グラフの特徴を調べる。【知】【主】	②低学年と高学年それぞれのメニュー別の人数の割合を求め、百分率で表す。	②低学年、高学年それぞれのグラフからデータを読み取り、気付いたことを話し合う。	②2つの帯グラフから、データの特徴を読み取る。【知】	②《パフォーマンス課題》 アンケート結果から分かることを、適切なグラフに表して説明する。【思・ルーブリック評価】		
10	③本時の問題場面を把握し、棒グラフを読み取る。	③これまで学習した棒グラフや折れ線グラフと比較しながら、帯グラフと円グラフのよさをまとめる。	③帯グラフや円グラフのかき方の手順を知り、帯グラフや円グラフをかく。【知】	③3つ目のメニューの選び方を考え、説明する。【思】	③30年前と、今のあげパンの人数の多少から考えられることを説明する。【思】	③《パフォーマンス課題》 アンケート結果から分かることを、適切なグラフに表して説明する。【思・ルーブリック評価】		
15								
20	④割合を表すグラフとして「帯グラフ」「円グラフ」を知り、読み方を確認する。【知】	④帯グラフと円グラフのよさをまとめる。	④統計的な問題解決の5つの段階に沿って、これまでの学習を振り返る。【知】	④割合だけでは判断できないことをまとめる。	④帯グラフと円グラフのよさをまとめる。	④《パフォーマンス課題》 アンケート結果から分かることを、適切なグラフに表して説明する。【思・ルーブリック評価】		
25								
30	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	④習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 教科書P.91△1①② ・ステップ2 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 教科書P.91△1③④ ・ステップ2 ・ステップ3 <意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	⑤《パフォーマンス課題》 アンケート結果から分かることを、適切なグラフに表して説明する。【思・ルーブリック評価】		
35							②<単元の振り返り>【主】	②即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所の直しを行う。 ※単元のドリルで間違えた問題を家庭学習とする。
40								
45							③<振り返り>	